



奇跡の一本松
イエローライトアップ
平成28年2月19日

すべての人がいきいきと暮らせるまちに

-東日本大震災から5年を迎えて-

岩手県陸前高田市 佐々木敦美



東日本大震災被害の状況



震度 6弱

浸水高 17.6m (最大)

地盤沈下 84cm (最大)

人口 24,246人※

死亡者 1,553人 (関連死含む)

行方不明者 205人

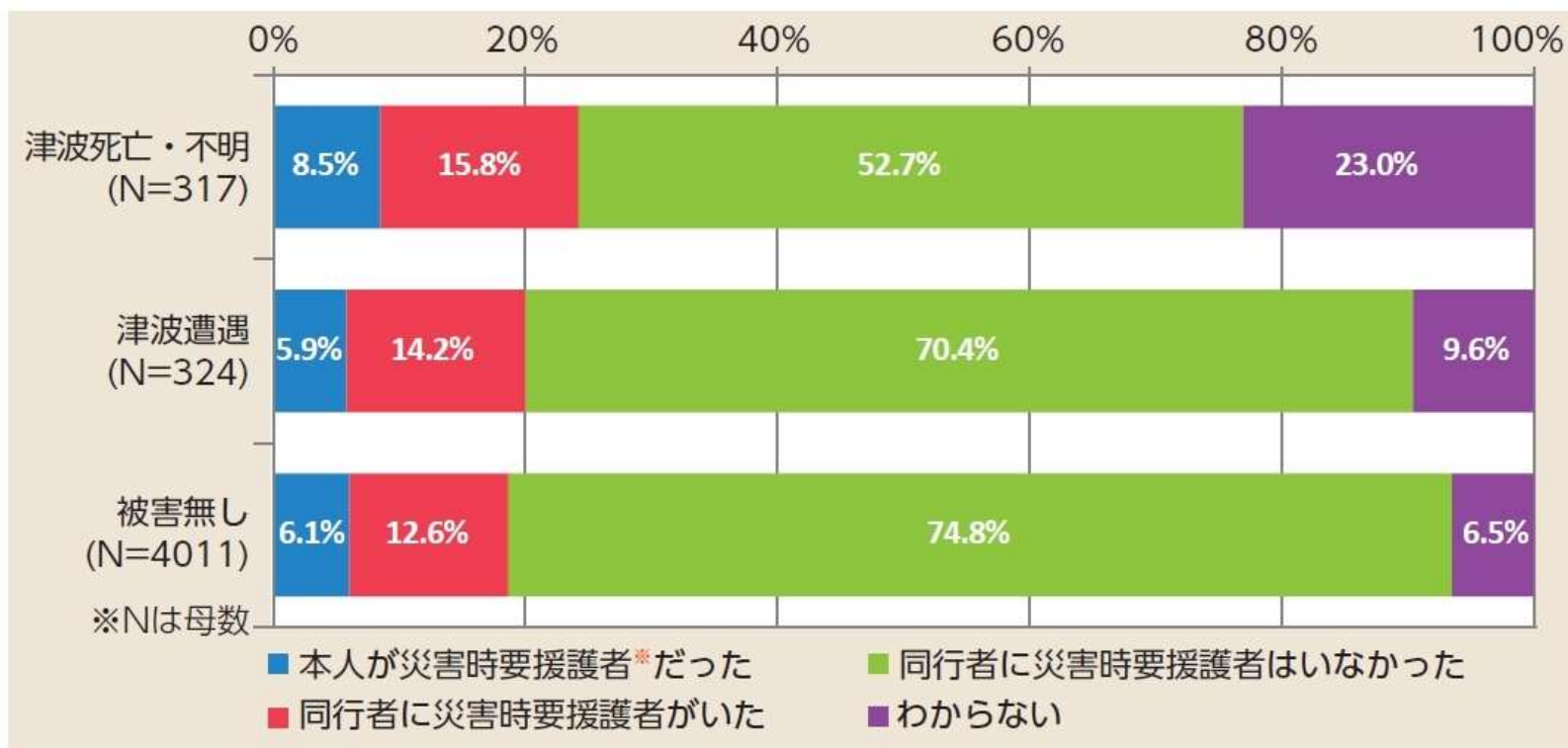
世帯数 8,069世帯※

住家全壊 3,805世帯

半壊 236世帯

※人口、世帯数はH23.2.28時点

災害時要援護者と被害状況



* 最近では、「要配慮者」と呼ばれているが、本調査のアンケート時では「要援護者」の呼称を用いた。



検証から得たもの

1. 避難が何よりも重要
2. 避難所に逃げたら終わりではない
3. 公的な役割を持つ人の安全の確保
4. 災害に強い安全なまちづくり
5. 誰もが安全に生活できる社会の実現



- 福祉避難所の指定
主に高齢者対応 6ヶ所
主に障がい児者対応 2ヶ所
- 避難行動要支援者名簿の作成
約790名登録
- 「避難マニュアル」「避難所運営マニュアル」等の作成

要配慮者の避難

～ノーマライゼーション※という言葉のいらないまちづくりに向けて～

※ 障がいのある方も含め、すべての人々が同等に社会生活を営むことができるという考え

要配慮者とは

高齢者、障がいのある方、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する人を「要配慮者」といいます。自力での避難が困難な場合があるため、地域の人たちの協力が必要です。

高齢者

- 声をかける
- おんぶする
- 腕を貸す



車いすの人

- 階段は3～4人で
- 坂道を降りるときは後ろ向き
- 乗るとき、降りるとき、止まったときはブレーキを！



視覚障がい者

- 腕を貸す
- 段差に注意してゆっくりと歩く
- 盲導犬にふれない



妊婦、乳幼児

- 体調に気をくばる
- 小さな子はおんぶする



聴覚障がい者

- 筆談
- 顔を見てゆっくり話す



外国人

- 身振り手振りで伝える



日ごろから近所づきあいを大事にし、困ったときには助け合える関係を築いておくことが大切です。

災害時における確実な情報の伝達

避難所運営マニュアル 3章 運営

8 要配慮者の支援

(1) 配慮すべきこと



高齢者や障がいのある方、乳幼児等の要配慮者は、環境の変化による影響を受けやすいため、居住空間の設定や情報提供等、要配慮者の特徴に合わせて、配慮が必要となります。

ア 要配慮者に応じた居住空間を検討します

- 居住空間は、より居住性の高い部屋・場所を優先的に提供するように配慮し、要配慮者本人及び家族の意向を確認した上で、割り当てを行います。

移動しやすい環境：出入口やトイレの近く、車椅子が通れる通路幅
 空調設備のある部屋：冷暖房設備、窓のある部屋
 他人と接しない空間：個室、部屋の角やテントの活用
 授乳スペースの設置：個室、間仕切りやカーテンの活用

イ 要配慮者への情報提供に配慮します

- 多様かつ適切な手段を用いて、積極的に情報を提供します。(特に、介護用品や医薬品の配布予定等)



誰にでもやさしい情報提供手段の例

- わかりやすい短い言葉やふりがな、大きな文字を活用した文字情報
- 絵、写真、手話等による文字を使わない情報提供
- わかりやすい口調での音声情報、点字による情報提供

○防災行政無線配信の多様化
 電話、ラジオ、メール、インターネット

○個別受信機配布の拡大

○緊急通報装置設置の拡大
 65才以上独居⇒障がい者まで
 携帯機器の無償貸与

○自主防災組織の育成支援

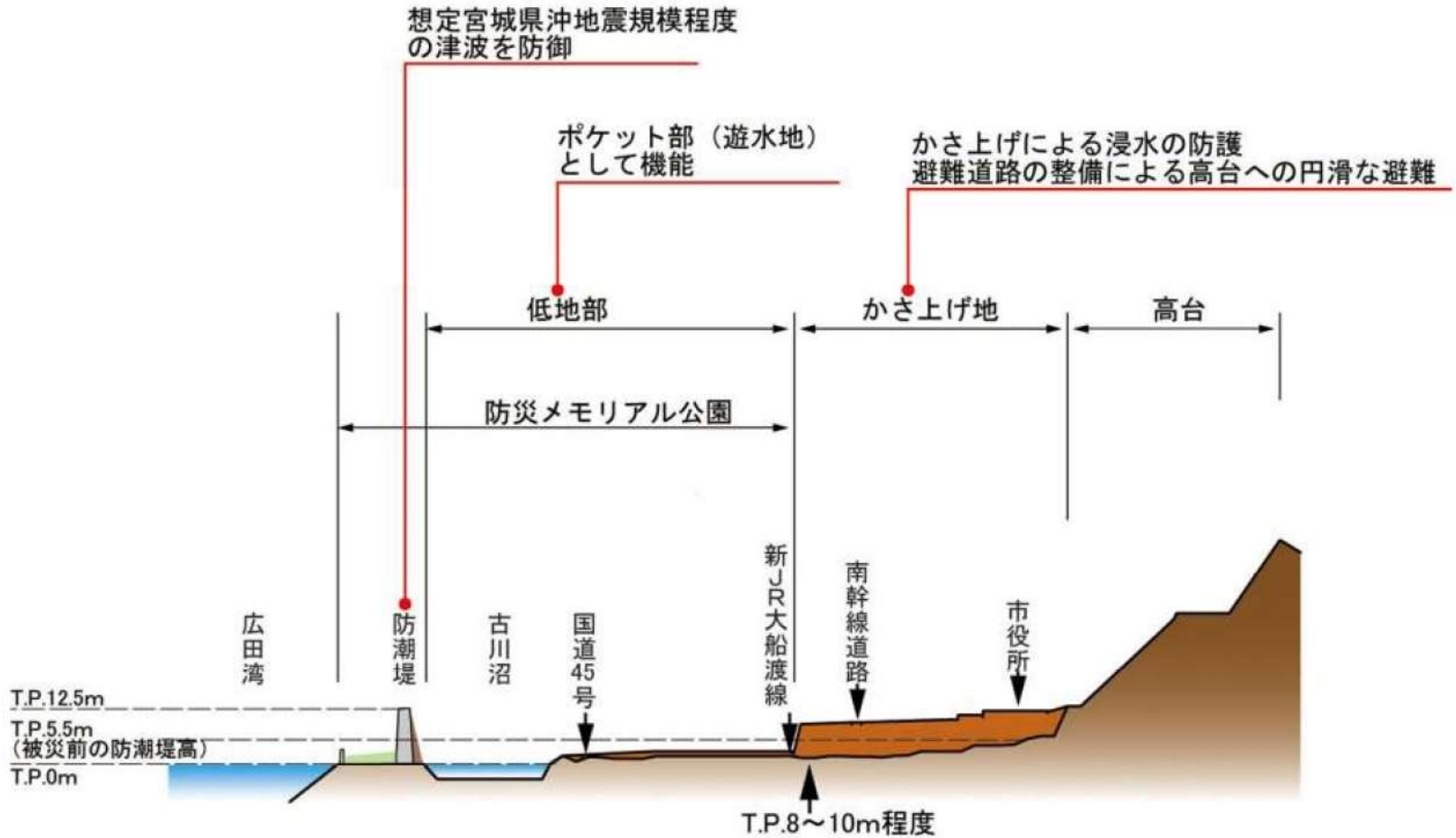
「おねがいカード」の活用について

- 要配慮者は、自分の情報や支援が必要なことを記入した「おねがいカード」等を携帯している場合があります。
- 「おねがいカード」等を活用し、要配慮者の状況把握に努めましょう。
- なお、「おねがいカード」の様式は、岩手県社会福祉協議会のホームページから入手できます。





津波防災対策





ベルトコンベヤでの土砂搬送終了



ベルトコンベヤ設備	
〔ベルトコンベヤ諸元〕	
・幅	: 1.8m
・総延長	: 2970m
・速度	: 250m/min
・搬送能力	: 6000t/h

平成26年3月～27年9月稼働
1日あたりダンプカー約4千台分の土砂を搬送

10年かかる作業を1年半で完了



魅力的なまちなかづくり

4つの基本的な考え方 - 魅力あるまちなかづくりを進めるために -

1 陸前高田ならではの良さが感じられるまちづくり

- 海と山と川に囲まれた陸前高田の風土や、地場産材などの地域資源を活かしたまち。
- 人への優しさや人と人とのつながりを大切に、おもてなしとあたたかみの心を持ったまち。

2 歩いて楽しく、車でも便利なまちづくり

- 開放的で立ち寄りたくなるようなお店が並ぶ、歩いて楽しいまち。
- お店から近い場所に公共駐車場があり、車でも便利なまち。

3 魅力あるまちなみづくり

- お店と通りが一体となり、中心市街地としての個性や賑わいをつくっていくまち。
- 店先などの植栽を工夫し、花や緑で四季の変化が感じられるまち。

4 人に優しく快適なまちづくり

- 小さな子どもや高齢の方、障がいのある方など、全ての方々が楽しく過ごせるまち。
- 災害時の迅速な避難誘導など、安心・安全のまち。

建物の計画にあたっては、以下の内容にご配慮いただようお願いいたします。

本丸公園通り / 鉤型街路

■ 建物の壁面の位置をそろえましょう

建物の壁面の位置をそろえることで、まちなかの賑わいと連続性・一体感が生まれます。

■ 敷地の前面に駐車場は設けないようにしましょう

お客さま用の駐車場は、敷地の道路に面した部分には設けず、各所に整備する公共駐車場を活用しましょう。歩行者の安全が確保でき、まちなかの賑わいづくりに繋がります。

※これ以外の通りや街区についても、今後検討を進めていきます。

- ① 本丸公園
- ② 市神様
- ③ まちなか広場
- ④ 図書館
- ⑤ 大型商業施設
- ⑥ (仮称) 市民文化会館
- ⑦ イベント広場
- ⑧ 川原川公園
- ⑨ (仮称) 一本松記念館
- ⑩ 新陸前高田駅
- 公共駐車場



まちなか全体について

■ 建物の用途

商業地としての賑わいや連続性に配慮し、今泉高田連絡線より東側の区域では、住居のみを目的とする建物はさけるようにしましょう。

店舗併用住宅は、1階と2階で店舗と住居を分けるなど、別業者にも賃貸可能な間取りにしましょう。

■ 建物の高さ・色

通りや街区ごとに建物の階数を一定以下にするなど、まちなみの連続性に配慮した建物の高さとしましょう。

建物の屋根や外壁などは、原色系の色づかいはさげましょう。

■ ユニバーサルデザイン

店舗の出入口の段差をなくしたり、通路の幅を十分に確保するなど、ユニバーサルデザインに配慮しましょう。

大型の施設には、多機能トイレや授乳室などを設置していきましょう。

■ 屋外広告物(今後、市がルールを定めます)

まちなかの景観を維持するために、高さ・大きさ・色などのルールをつくっていきます。

この図はイメージであり、今後変更の可能性がありま。



進む生活再建



平成28年度完成（予定）
災害公営住宅 市内11団地



生活再建にあたっての課題



住宅地となる高台の造成
⇒平成31年3月終了

仮設住宅の解体・集約
47団地
1,236世帯
3,040人
(2月末現在)





ふるさと納税の再開

平成27年7月

【寄附金の活用メニュー】

1. 子ども支援
2. 高齢者・障がい者支援
3. 農林水産業・商工業等の振興
4. 移住・定住促進
5. 環境美化
6. コミュニティ活動・NPO団体等支援
7. 文化財保護活用
8. その他のふるさとづくり





陸前高田市のふるさと納税の特徴



**特産品の発送は
わたしたちが心をこめて！**

返礼品の発送業務は授産施設の方々にご協力いただきます。もちろんきちんとした施設外就労として、誇りをもって、感謝の気持ちと共に発送します。これも陸前高田市が目指す「ノーマライゼーション」という言葉のいらないまちづくりへのワンステップです。

『一般社団法人ドリームプロジェクト』 について ▶



障がい者雇用の拡大



新たなビジネスパートナーとして

復興の戦力として





介護認定からの卒業

自身の**努力**で
介護サービスから**自立**した人に
卒業証書を授与



卒業後は…

市と社会福祉協議会が**連携**
介護**予防**教室などを通じて
継続支援



初の卒業生となった女性（89才）



ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり



平成27年6月
アクションプラン完成

